

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMORE諏訪野校		
○保護者評価実施期間	令和8年 年 2 月 24 日		～ 令和8 年 3 月 16 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和8 年 2 月 24 日		～ 令和8 年 3 月 16 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8 年 3 月 24 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画が作成されている。	本人や保護者様からの聞き取りだけでなく、学校での様子や事業所内での行動など多角的に情報収集を行っている。	引き続き多角的な視点からニーズや課題の分析を行い、必要に応じて面談の提案などを行う。
2	子どもや保護者からの相談、申入れに対して迅速かつ適切に対応できている。	相談などがあった日は、管理者を含め当日に職員間でミーティングを行い、保護者様に迅速に返答できるようにしている。	返答後、保護者様に相談内容へのアフターフォローの強化を行っている。
3	子どもが通所を楽しみにしている。	児童が楽しんで利用できるように活動が固定化されないように屋内、屋外の活動などを取り入れている。	継続して固定化されないような活動を考え、SNSなどを駆使して情報収集をしながらより一層子ども達が楽しめるような活動を計画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流ができていない。	交流のイベント情報を調べているが、開催時間が児童が学校に行っている時間が多く、参加できていない。	継続して情報収集を行い、長期休暇などを利用して児童の安全面を考慮しながら参加できるイベントを探していく。
2	緊急時対応マニュアルや発生を想定した訓練を実施しているか保護者への周知が不十分。	児童を含めた避難訓練や各マニュアルの策定はされているが、保護者様への情報共有できていなかった。	マニュアルの有無や設置場所を再周知するとともに避難訓練の様子などをSNSや送迎時にお伝えしていくようにする。
3	放課後デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合の情報共有ができていない。	放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業へ移行する児童がまだいないため、機会がない。	障害福祉サービスへ移行する児童がいる場合に備え、移行支援に対する情報を職員間で共有していく。